

第2学年 音楽科の課題と授業工夫・改善案

1 生徒の学力実態

(1) 授業アンケート結果による分析

- ・ 授業がわかるか、もしくはできるかという質問に対しては、80%前後の生徒がわかる・できると答えている。その理由としては、内容が易しい、授業がわかりやすいという回答が約80%を占めている。
- ・ 授業が好きか嫌いかという質問に対しては、70～80%の生徒が好きと答えている。理由としては、どの学年も授業が楽しいという回答が一番多かった。
- ・ 授業での説明はわかりやすいかという質問に対しては、80%以上の生徒がわかりやすいと答えている。
- ・ 忘れ物については、多くの生徒が、忘れ物は毎回ほとんどないと回答しているが、少しある・よくあると答えた生徒が30%をこえている学年もある。
- ・ 教科で学習したことが、日常生活に役に立つと思いますかという質問に対しては、役に立つと答えた生徒は50～60%であった。

(2) 学習態度・関心意欲

【歌唱】

- ・ 意欲的に取り組む姿勢が多く見られる。
- ・ 豊かな響きや美しいハーモニーをつくることへの喜びを感じている。
- ・ 曲趣に応じた発声で歌わず、地声のみで歌う生徒も多い。

【器楽】

- ・ 興味・関心はどの生徒も高く、目標をもって意欲的に取り組もうとしている。

【鑑賞】

- ・ ほとんどの生徒が楽曲のよさを感じることができているが、音楽の多様性を理解して鑑賞したり、総合的に理解して鑑賞したりするまでにはいたっていない。

【創作】

- ・ 興味・関心はもっているが、活動時間が十分とれていないので、今後簡単な旋律作りなどを取りあげたい。

2 生徒につけたい力

音楽のよさや楽しさを感じとる力
 自分の思いや意図をもって、表現したり味わって聴いたりする力
 生涯にわたり音楽文化に親しむ態度
 合唱を通して一つの音楽をつくりあげる喜びや仲間と協力する姿勢
 何事に対しても集中して取り組む姿勢

3 指導工夫改善の手だて

4 題材「混声合唱の響きを味わおう」 指導計画 6時間

毎時間、反省・課題を含めた自己評価表を記入させ、常に課題を意識させる。
 生徒が主体的に活動できる場面を多く設定する。
 生徒が取り組みやすい学習プリントを作成する。
 班活動や少人数グループの活動など、活動形態を工夫する。
 わかりやすい、楽しい授業を計画する。

時	1	2	3	4 本時	5・6
内容	・楽譜作成 ・楽譜の説明 ・パート練習	・パート練習 (音程確認)	・パート練習 (音程確認) ・合唱練習	・課題を解決するためのパート練習 ・合唱練習	・パート練習 ・合唱仕上げ (表現内容・姿勢など)

(1) 題材 「混声合唱の響きを味わおう」

教材 混声三部合唱『心の瞳』

(2) 本時の指導観

これまでに、パートごとの音程確認、全体での合唱を繰り返し行ってきた。本時では、これまでの活動を振り返った上で、パートごとにめあてを設定し、そのめあてを達成するための練習を工夫することで、課題解決に向けて取り組ませたい。

(3) 主眼

パートごとに、課題解決に向けた練習をすることで、表現内容を深めることができる。

(4) 準備

楽譜 CDラジカセ 範唱CD 録音機器 自己評価カード 表現内容チェック表
パート練習チェック表

(5) 展開

学習活動・学習内容	学習形態	指導上の留意点	指導工夫改善の手だて	配時
			評価	
1 前時の録音を聴き、課題をみつけ、パートごとにめあてを設定する。	一斉 パート	・チェック表をつけながら前時の録音を聴き、課題をみつけ、それを解決するためのめあてをパートごとに設定させる。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> パートごとに課題をいかしためあてを設定することで、パート練習に対する意識をもたせる。また、パート練習チェック表も参考にし、課題解決のための練習方法を考える。 </div>	15
2 パート練習をする。	パート	・リーダーが中心になって活動を進めるために、チェック表を活用させる。		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> リーダーを中心に生徒が主体的に活動できるよう、パート練習では表現力を高めるためのチェック表をもたせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 関：めあてにそって練習をすすめることができる。練習状況チェック </div>
3 全体で合わせる。最後に1回録音し、自分たちの合唱を聴く。	一斉	・各パートの課題を意識しながら歌うために、リーダーが気をつけるポイントを再確認する。 ・パートで設定しためあてが達成できているかを考えながら聴くように指示する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 感・表：課題に気を付けて合唱することができる。様相チェック・自己評価カードチェック </div>	15
4 自分たちの合唱を聴いた上で、パートごとに本時の学習を振り返る。	パート	・めあてにそって取り組めたか、めあてを達成することができたかを振り返り、次時への課題につなげる。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 自分のことばで、自己評価カードに今日の活動を書きまとめる。 </div>	5

各パートの課題を解決して表現内容を深めよう。

